

赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 槐

新訂和漢薬 記載頁

341

基源 マメ科 エンジュ *Styphnolobium japonicum* Schott. (= *Sophora japonica* L.) の樹枝, 樹皮, 樹脂, 根, 葉, 花, 果実.

部位 樹枝(槐枝); 樹皮(槐木皮); 樹脂(槐膠); 根(槐根); 葉(槐葉); 花(槐花, 槐米): 炒[本草綱目]; 果実(槐実, 槐角): 牛乳浸蒸過[本草綱目]

作用 花蕾(槐花, 槐米):
無毒. 殺虫 [本草綱目].

応用 花蕾(槐花, 槐米):
心痛, 腸風瀉血, 赤白痢, 漏下, 皮膚風熱, 眼赤, 五痔, 腹臑虫 [証類本草, 本草綱目], 吐血, 衄血, 崩中, 失音, 喉痺 [本草綱目].

処方 黒聖散, 槐花散, 八宝湯〔便血〕, 祛風辟毒湯, 調和煎〔痔疾〕, 玉池散〔齒血〕.

備考